

國家機密

第四部

大日本帝國政府

「今後探ルベキ戰爭指導ノ大綱」ニ基ク物の國力運籌ノ基礎
事項ニ關スル件

一、物の國力ノ見透ニ基キ十九年度航空機及甲造船ノ目標ヲ左ノ如ク

定ム

イ、航空機ノ生産目標ハ約四萬二千機ニ改メ特ニ之ガ機上生産並製

質ノ確保ニ最大ノ努力ヲ致スモノトス

向アルニニユウム代用資材ノ使用増化ニ依リ生産量ノ増加ニ努

ム

ロ、甲造船建造量ハ一噸約一八〇萬總噸（内油槽船約九二萬總噸

ニ編改ムルト共ニ修理ノ促進ヲ重視ス但シ右建造量ニ多少ノ影

響アルモ海上交通保全ニ必要ナル兵力、兵器等ノ充實ニ一層力

0856

大日本帝國政府

ヲ法ギ船腹維持上被害ノ減少ト新造船トノ綜合的成果ヲ最大ナラシムル如ク措置ス

ニ呂船兵器具ノ他ノ新兵器ノ種類數量等ハ關聯産業部門ニ及ボスベキ影響ヲ考慮シテ決定ス

三戰争完遂ニ必要ナル国力維持ノ爲左記諸施策ヲ講ス

イ、鐵道輸送力尠小運送ノ増強ヲ圖ル特ニ大陸一貫輸送ニ付テハ實質的一元運営ヲ爲シ得ル如ク速力ニ措置ス

ロ、乙造船ニ關シテハ修理ノ徹底ヲ取視シツツ十九年度進造目標ハ概ホ三十萬總噸トシ特ニ油價船（十萬總噸以上）ノ線上進造ニ努ム

0857

大日本帝國政府

尙別ニ代用燃料使用木船、曳船及舢舨ヲ速ニ整備スルト共ニ帆船ノ國家的活用ヲ圖ル

ハ、二十年度ニ於テ日滿支資源ニヨルアルミニウム約十二萬噸（滿洲ニ於テ生産スルモノヲ除ク）ヲ確保シ得ル如ク措置ス

ニ、液体燃料ノ自給力増強ノ爲極力日滿支ニ於テ原油人造石油アルコールノ増産ヲ圖ルノ外「クレオソート」油脂ヲ動員シ特ニ代用燃料タル薪炭ノ増産ヲ圖ル

尙南方石油運送力維持ニ付強力ナル方途ヲ講ズ

ホ、重要物資ノ生産ノ爲低價ノ補修或運用料ヲ極力確保ス

四第三四半期物動計畫策定ニ當リテハ當面ノ決戦戦力増強ニ重點ヲ

0858

大日本帝國政府

置クト共ニ成シ得ル限り第三項ノ實現ニ努ム、之ヲ爲ス爲ス當リ普通
鋼鋼材ノ基本配當量ヲ別表ノ如ク定ム

五勞務配當ニ關シテハ物動計畫配當方針ニ則リ斷乎タル調整ヲ編行
ス就中工場ニ於ケル過剩勞務者ノ配當轉換ヲ急速ニ實行ス

ハ本年後期一切ノ徹底的戰力化ヲ期シ在庫未稼働物資ノ徹底的動員
ヲ行フ

備考

二十年度ニ於ケル航空機生産量及造船量等ニ關シテハ概ホ左ノ如
ク豫定シ別途速力ニ檢討ノ上之ヲ定ム

0859